

令和5年度 第2回 最上地域保健医療協議会 議事概要

日時：令和5年12月21日（木）

18:30～19:40

場所：WEB会議（Zoom）

1 開会

2 あいさつ（土田会長）

3 報告・協議事項

(1) 公立病院経営強化プラン策定について

事務局から資料1-1～1-3により、最上地域医療構想の検証状況について説明。また、最上町立最上病院・町立真室川病院の経営強化プランが、地域医療構想と整合性が取れていることについて説明。

各委員より意見・質疑等はなく了承された。

○ 各医療機関の状況について

（最上町立最上病院）病床利用率は現在70%程度だが、プランに基づき取り組むことにより90%程度まで上げられる見込みである。

（町立真室川病院）令和5年10月から地域包括ケア病床を導入した。PTのマンパワー不足があり、令和6年4月から1名増やし、地域包括ケア病床をさらに増やしていきたい。

（県立新庄病院）新病院開院以降、急速に病床利用率が回復しており、現在は、病床利用率が9割を超えて、病床が逼迫している状況となっている。新庄徳洲会病院、最上町立最上病院、町立真室川病院の協力を得ながら、退院支援と逆紹介を進めてまいりたい。

(2) 第8次山形県保健医療計画案について

事務局から資料2-1～2-5により説明。計画案に対する意見を求めた。

○ 主な意見・質疑等

【在宅医療について】

- ・在宅酸素吸入の方が増えているが、急変すると、家族が「こんなつもりじゃなかった」と不安になり、病院に戻してほしいと希望する。
- ・在宅看取りを目指しても、病院での看取りになってしまう方が増えている。
- ・看取りを行う介護施設が出てきた。
- ・身寄りのない方が増えている。また、介護する側の高齢化もあり、キーパーソンのいない方が多い。

- ・病院で退院前カンファレンスを実施してくれるため、在宅医療がやりやすくなりありがたい。

【医師確保について】

- ・管内の公立病院、診療所の医師が高齢化している。県は医師確保についてどのように考えているか。

(事務局) 大変重要な指摘をいただいた。総合支庁としても将来に向けた確保は行っているが、医師が足りないという目の前のことについて出来ることを考えながら、相談させていただきたい。

(医療政策課) 地域医療支援課において、来年度の予算要求に医業承継の事業を盛り込んでいる。

(3) 外来医療計画案について

事務局から、資料3-1～3-3により、計画案に対する意見を求めた。各委員より意見等はなく異議なく了承された。

4 その他
特になし